

USB メモリとスティック型 SSD

外部保存用のメモリはハードディスクが主体であったが、最近では、USB メモリの大容量化、SSD の小型化でスティック型が製品化されている。それぞれの違いを見てみよう。

【ハードディスク】

昔ながらの記憶装置で大容量、低価格が売りだが、最近では SSD の大容量化、低価格化から、パソコン本体にも搭載されなくなる傾向にある。

【USB メモリ】

小容量のデータのバックアップの用途に使われてきたが、最近では大容量化が進んで用途も増えている。

【USB メモリ型 SSD】

小型化が進み、スティック型が登場し、USB メモリのように容易に大容量のバックアップができるようになった。

【性能比較】

比較項目	ハードディスク	USB メモリ	スティック SSD
価格 (1TB)	8,000 円	4,000 円	12,000 円
容量	◎	△	○
転送速度※	△	○	◎
耐久性、耐衝撃性	△	○	◎
平均寿命	○	△	◎
発熱量、消費電力	△	◎	○
データの復旧	◎	△	○
動作音	△	◎	◎
用途	<ul style="list-style-type: none"> ・大容量のデータの保存やバックアップ ・パソコンに接続して、容量不足を補う 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的なデータの保存 ・データの受け渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ・大容量のデータの保存やバックアップ ・パソコンに接続して、容量不足を補う

※転送速度は、USB 規格にも依存する：規格（転送速度）

USB2.0 (480Mbps)、USB3.2 Gen1 (5Gbps)、

USB3.2 Gen2 (10Gbps)、USB3.2 Gen2×2 (20Gbps)